

教育課程表

教科 科目	入学年度 類型 学年 学級数	平成7・8年度												平成7年度											
		商業(情報処理)コース				一般(文Ⅰ類型)				一般(文Ⅱ類型)				一般(理Ⅰ類型)				一般(理Ⅱ類型)							
		I	II	III	計	I	II	III	計	I	II	III	計	I	II	III	計	I	II	III	計				
		7(他類型と混成)				7(他類型と混成)				7(他類型と混成)				7(他類型と混成)				7(他類型と混成)							
国語	国語Ⅰ	6				6				6				6				6							
	国語Ⅱ		5				5		16		5		16		5		14		5		14				
	国語表現				2°				2°				2°				14				2°				
	現代文			3				5	20			3	18			3	16			3	16				
	現代語						2△		22		2△		20		2△		18		2△		18				
	古典Ⅰ						2△		24		2△		22		2△		18		2△		20				
	古典Ⅱ								26				22				18				20				
古典講読				2°				2°			2														
地理歴史	世界史B	2	2			2	2		10	2	2		10	2	2		10	2	2		10				
	日本史B			2				2	10			2	12			2	10			2	10				
	地理B	2	2			2	2		12	2	2		14	2	2		12	2	2		12				
	アジア研究				2°				2°				2*				2°				2°				
公民	現代社会			4				4	4			4	4			4	4			4	4				
	環境問題研究				2°				6				2°				4				2°				
数学	数学Ⅰ	4				4			10	4			10	4			12	4			12				
	数学Ⅱ		3	3			3	3	10		3	3	10		3	3	14		3	3	12				
	数学Ⅲ								12				12				16				14				
	数学B						2△		14		2△		14		2△		18		2△		16				
	数学演習A						2△				2△				2△		20		2△						
	数学演習B				2°												2°								
理科	物理ⅠB		2□		2°		2□				2□				2□		12		2□		12				
	化学ⅠB		2□	2			2□	2	12		2□	2	12		2□	2	14		2□	2	12				
	生物ⅠB	2	2□	2		2	2□	2	12	2	2□	2	14	2	2□	2	16	2	2□	2	14				
	地学ⅠA	2				2				2			2*	2			18	2			2*				
	総合科学				2°								2°				2°				2°				
保健体育	体育	3	3	3		3	3	3	11	3	3	3	11	3	3	3	11	3	3	3	11				
	保健	1	1			1	1			1	1			1	1			1	1						
芸術	音Ⅰ・美Ⅰ・書Ⅰ	2				2			6	2			6	2			6	2			6				
	音Ⅱ・美Ⅱ・書Ⅱ		2				2				2				2		6		2		6				
	音Ⅲ・美Ⅲ・書Ⅲ			2				2				2				2				2					
外国語	英語Ⅰ	4				4			13	4			13	4			13	4			13				
	英語Ⅱ		2	3			2	3	15		2	3	15		2	3	15		2	3	15				
	オーラル・コミュニケーションA	2				2			17	2			15	2			17	2			15				
	オーラル・コミュニケーションB		2				2				2				2		19		2		15				
	リーディング				4°				4°				4°				21				19				
	英語読解演習						2△		21		2△				2△		21		2△		21				
	英語演習B				2°				2*								2°				2*				
国際教養	国際理解				2°				0・2				2°				0				2°				
	第2外国語				2°				4				2°				4				2°				
家庭	家庭一般	2	2		2°	2	2		4・6	2	2		2°	2	2		4・6	2	2		2°				
	文書処理		2	2			2△		0・2		2△		2°		2△		0・2		2△		2°				
商業	情報処理		2	2			2△		4・6		2△		2°		2△		4・6		2△		2°				
	情報処理		2	2			2△		2°		2△		2°		2△		2°		2△		2°				
教科・科目の計		32	32	28	4	96	32	32	26	6	96	32	32	26	6	96	32	32	24	8	96	32	32	26	6
特別活動	ホームルーム活動	2	2	2		6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6			
教育課程を補充実するための教育活動		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		34	34	34		102	34	34	34	102	34	34	34	102	34	34	34	102	34	34	34	102			
選択の方法		□印から2科目4単位選択 ○印から1～2科目4単位選択				□印から2科目4単位選択 △印から2科目4単位選択 ※印から1科目2単位選択 ○印から1～2科目4単位選択				□印から2科目4単位選択 △印から2科目4単位選択 ※印から1科目2単位選択 ○印から2科目4単位選択				□印から2科目4単位選択 △印から2科目4単位選択 ※印から1～2科目4単位選択 ○印から1～2科目4単位選択				□印から2科目4単位選択 △印から2科目4単位選択 ※印から1科目2単位選択 ○印から2科目4単位選択							





## 生徒指導部

「生徒指導の現状」

大阪府立柏原東高等学校の記念すべき創立20周年を、職員の一人として皆さんといっしょに迎えられることをうれしく思います。

高校生の段階では心身の発達が著しく、大人への過渡期にあって色々の不安感を持っている者も多く、また、価値観の多様化に伴い個性の表現も多様化し、今日の生徒指導を困難にしているのではないかと思います。

この様な中で、本校に入学してくる生徒達のなかにも問題行動を起こす者がみられ、朝の遅刻指導、各休み時間の立ち番、下校指導と先生方も大変だったと思います。そこで、93年度に白浜先生が生徒指導部の部長になられたとき、生徒指導にあたっては、頭ごなしを排し、生徒が納得いくまで話し合い、折りにふれてよい点を見つけてほめ、生徒と先生の信頼関係の確立を指導の柱にしてこられ私も、本年度、その方針を継承して生徒指導にあっています。

最近、その成果があらわれだしたのか、生徒の顔が穏やかになり、反抗的な態度をとる生徒もほとんどみられなくなったと思います。また、この学校をみんなでよくするんだという指導に対して耳を傾けてくれるようになったと思います。

そのあらわれとして、指導された生徒数も、93年度に比べ95年度には半減してほり、数年前まで

は毎日、トイレや食堂等で多数の吸殻をひらうということがありましたが、最近では校舎内ではほとんど吸殻を見かけることがなくなりました。

本校では日常の基本的な生活習慣を確立させる第一歩として「遅刻」に対して厳しい段階的指導を実施しています。一定の成果はあがっていると思われませんが、梅雨や冬の寒い時期にはやはり遅刻が多く、日常的にねばり強く指導していきたいところです。

生徒の状態がよい方向に向いてきているなかで、最近、指導の困難さを感じているのが服装、頭髪、装飾品、化粧など個性の表現にかかわる指導です。禁止されていることをやりたいと思う気持ちは良く分かるが、指導の背景には高校生として容認されるT. P. O. の存在を生徒に語ることによって、問題意識を生徒が自分のこととして受けとめることができるように話し合っていきたいと思ひます。

本校は、これまで多くの先生方、保護者の方々、卒業生等によって支えられてきたわけですが、現状に甘んじることなく、よりよい学校造りを目指してがんばっていききたいと思ひます。

(横山 博史)





## 図書館

ひとが集う楽しいところ

——読書以前の子供の暮らし、そのものを視野にいれないと、子供は本と出会わない。子供と本と出会うには、親が本を読む姿を見せること、手の届くところに本を置いておくこと、なにより親が読んであげるのが一番。——本好きになる。必要なとき本で調べることができる。そのことは、まず、学校でなく家庭での生活環境に関わる問題でもある。図書館で楽しんでほしい。楽しめる場を提供したいと思っても「楽しい」と思った経験・体験がない。今更それを望まない。読書以前そのものを視野にいれないといけないという事。本当にそうだなと思う事が多い。無気力・無感動・無責任等と言われ、三無主義いやもっとひどい、この頃の高校生は、といわれていた頃「15の春を泣かすな」と新設校が生まれた事、学校図書館法ができて半世紀近くたつと言うのにまったく機能していない事、様々な事が影響していると思う。

小・中学校の頃の図書館はと聞いてみると「1」閉まっていた「2」読みたい本がなかったという意見が出てくる。開館していない図書館

今、興味のある事を知れる、楽しめる本がない図書館に誰がくるでしょうか。読みたい本がない、その前に閉まっていた。それに等しい学校図書館では身近かなもの・楽しいところだと思えないのは当然。そのうえ「本嫌いになる要素」が学校にはいっぱいある。確かに学校・図書館は調べ学ぶということを展開させる場です。しかしそこで大事なのは学ぶ意欲をいかに触発することができるかであり、確かな認識や能力を養うために生徒が自ら学習意志をもって学ぶことの大切さを知れるような活動がなされているか〈ゆとり〉をもっていかどうか問題なのではと思う。

入学を機会に今までの必要としないマイナスのイメージを変えてみよう〈オリエンテーション〉を1クラス1時間図書館で実施。面白い本の紹介や自由に見て回れる時間を多くとり、小中学校で学校・図書館を身近なものとしていなかった、活用の仕方を知らなかった「本が嫌い」という態度を前面にだし説明を聞こうとしない者にこそ、自分達の図書館なら「読みたい本がある、来よう」という感じ思いを持ってもらえる様にしています。少し解ってもらえているようで・すごい・驚いた・利用するといった感想を書いています。

入学できて15の春泣かずにすんだように思っているのはまわりだけで、進学してきたことで傷ついたりしたものも多く積極的に努力したり継続して何かをやる気が見られにくかった。しかし、仕方無しに始めた事は工夫し、短時間で仕上げる事ができた。

その多くの力が方向を見失っていた。

進学したいとはっきりした意志を持っていた者が少なく出来れば努力せずに希望がかなえば良い。無駄かもしれない「勉強」なんかしたくない。今は楽しくやりたい。そんな気持ちを正直にというのかストレートに表し、若いエネルギーは、今楽しむ事のみに向けられていた。

そんな中、図書館での以前の生徒には、本を全く読まない。本から知識を得るという事をしない。という批判にたいし「読まないのは自由や」と言える強さがあった。「やるときはやる。後で苦労してもええ。今はほっといて、指示されたない」と言った。

それが、いつのまにかたかだか9年間の学校の成績だけで評価されてしまうことに不満がないわけじゃなく、それが逆に不安でしかたがないといった形、引き金になって問題を起している。自信のない自分をどうすることもできない為に問題行動・言動を引き起こしていないで図書館で自分を見つめて取り戻してもらいたい。いっぱいある能力・魅力・才能がいかされないのは悲しい。

社会人になる直前の高校で今しか遊ばれへんとわかったような事を言っていないで、同時に図書館の利用の仕方だけ覚えておいてくれたらと思いつつ続いています。本当に困った時にこのままでは活用する力がついていないのではと心配なのです。

・「字 読まれへん」本当に読めない。

一冊の本を読み切った事がない。そのことだけで自信が持てないでいる。そんなこと大した事じゃない。始めれば軽く読めることを知ってほしい。

活字離れじゃなく「字 読めない」のレベルで終わらせ、負けてほっているのが心配です。自信を持ってほしい。そんな思いに、答えてくれている面もあるのですが、それ以上に理解力のなさにしんどい思いをする事が多いのです。

・自信をもてないままにしておくため 要領の得ない質問しかできない。力量のなさを責める気はないので、その視点から尋ね返してみても、



説明できないため、もういいわと逃げる。

意味のない反発・攻撃的な態度も多いです。楽しく本を読むという経験をほとんどしないまま高校生になったこととも関係があるのでしょうか。図書室には問題のある生徒はこないと考えられがちですが、わが者顔の生徒はどこでも同じ態度・行動をとります。まじめな生徒のようでも、ルーズで手のかかる者も多いです。そんな生徒たちに成長をうながし、みまもりルールを学ばせ社会にだすためにも図書館で出来ることはしたいのです。

卒業してから学ばなければならなくなった時に、はじめて「図書館へ行ってみよう」と思ってくれればいい。ずーと先々になってから今の活動が生かされ、わかってもらえるのかも知れません。何もしないでいるよりそんな楽しみにつながる学校図書館の活動は続けて行きたい。続けなければならないと思うのです。そのためにも独立した組織としての存在が理解されなければならないと思う。

利用した経験の少ないまま入学してきた生徒たちに、読める・親しめる本を提供する事からはじめて、着実に貸出に結び付けるまでの取り組みに必要な手間や工夫・予算は、いくらあっても足りない。色々な工夫をし、様々な取り組みをしていくためにも、余裕ある選書、収集が不可欠。常に新鮮な本があって、あれもこれも借りたくなるという目新しさがないと貸出が伸びない。予算減の影響は大きい。必要と思える本・リクエストされる本を余裕をもって買えない状況は、貸出数に顕著に表れている。

体育大会・文化祭などでは、普段は来ない生徒が「やっときたった・きたで一」とオリエンテーション以来とっぶり日が暮れてから、やってきていろんな事を言ってくれます。

人間として学ばなければならないことはその時に様々な人がいろんな表現・形で理解を促し続ける事から本質につながるように思うのです。「生徒のことを良く知ってられますね」と言ってもらえることがたびたびあります。自然に在校生のことを知らないでいては図書館の活動はなりたない部分があると思うのです。

親しみある図書館からすべてが始まる。

「楽しい」という事がいかに大事かそんな学校・図書館で人の心の痛みを理解出来る感性を養ってほしい。先生も生徒も人間として共にいっしょに活用して頂きたい。大人は子供を良い人間性へと導く義務がある。それができる学校・図書館って素晴らしいですね。

「図書館は人が集どう場」と考え、様々に工夫することで利用者は図書館を必要としてくれる。本があり、人がいて会話がある。そんな図書館で自由にひとときを過ごしながら、多くの事を体験してほしい。そのために何をすべきかを、利用者にとずねながら考え、生徒の代表である委員と色々取り組んでいます。そのひとつに読書会があるのです。参加した者が一つの作品を通して知った事・考えたことを核にして成長してくれてそれを伝えてくれています。

**読書会** 図書委員を中心に一冊を読みきる。

- ・よく考えたら、みんなで考えたらよく分かった。
- ・まとめ役(上司・リーダー)は、正しい認識と判断をすべき—その上で話し合う機会をつくる。
- ・自分が、しっかりすることが大事。
- ・自分で何かしなければだめだ。みんなに、自分の言いたいことを言わなあかん。抗議すべきだ。
- ・他の人の身になってみる、正しい認識と判断すべき、その上で助言できることはないかを考えてみる。自分が困ったときにすごい力がついている。

宮沢賢治の「猫の事務所」読書会 参加感想

3年・作者自身が私達に対する「問いかけ」として残した作品、それをこの読書会で考えることができた。自分と同じ、または違った、多くの意見を聞いたことで深く考えられて良かった。

- ・私は「いじめ」だけを見ていたけど、読書会で「いじめ」以外のたくさん問題やそれに対してのみんなの考えが聴けて良かったと思います。
- ・3回目の読書会で今回は内容が難しかった。1年次の「城の崎にて」具体的には忘れたけど、あの時のネズミのように生きている限り、仕事をする限り、全力で挑まなければならないと思う。

2年・どうしたら解決できるか今はわからない。でも、みんなが、お互いに相手のいい所を1つでも探せば何かのきっかけになると思うけどなあ。

- ・いろんな人の意見が聴けてとても良かった。「反論しなかつたらいじめられた」という考えをもつ気はない。どんな時もいじめは許されない。

1年・今日の読書会は良かったと思う。いろんな人の意見をたくさん聴けたからです。いつもしていた話合いと全然違って、何かどっかの会社の会議をしている気分だった。授業とは違った雰囲気でも貴重な体験をしたと思います。

10年ひと昔と言われてきたが、今や3年ひと昔と言えらるくらい変わってしまう事が多い。良くない事ばかりが、低年齢化する傾向が多く見られ、こんなことでは今は良くても将来大丈夫なのかと思う事が多い。今なんでも便利で簡単に手に入れられる分それを使いこなす能力が求められている。

そんな中で一人ひとりが「自分は…と思った」といった言葉にできるようになり、すぐ、解決できたり答えがあるわけじゃないけど、作品に接し「何かを感じとる・考える」ことが出来たことは、これから先の力になるのではないのでしょうか。



## 進路指導部

### 最近10年間の卒業生進路状況と傾向

#### 【進路】

大学合格者は年々減少していたが、17期生の健闘が光っている。推薦入試を中心にきめ細かい指導を継続していきたい。短大合格者は減少しているが、希望者はほぼ全員進学している。ここ1、2年短大は広き門となってきたことは間違いないと思われる。専門学校は、15%前後が進学している。技術・コンピューター系と医療系が最近増えている。

#### 【就職】

就職者の割合は55～60%であり変動はないが、5年ほどで社会情勢は一変している。約1500社から来ていた求人が昨年は約500社となり、特に、女子の事務・販売はたいへん厳しい状況である。各企業でリストラが進む中、特に、就職難は続くであろう。また、進路未決定者の比率が上がる傾向は、最近の特徴であり、進路指導の中身が問われていると思われる。

### 進 路 状 況

		大 学	短 大	専門学校	就 職	そ の 他	卒 業 者
8 期	男	16	8	25	103	47	199
	女	0	14	21	169	69	273
	計	16	22	46	272	116	472
9 期	男	11	4	35	145	43	238
	女	3	18	23	171	38	254
	計	14	22	58	316	81	492
10 期	男	7	0	28	129	40	204
	女	3	21	40	187	26	277
	計	10	21	68	316	66	481
11 期	男	3	1	39	134	32	208
	女	0	21	35	184	30	267
	計	3	22	74	318	62	475
12 期	男	4	0	50	136	26	216
	女	0	21	19	191	30	261
	計	4	21	69	327	56	477
13 期	男	1	2	23	121	37	184
	女	1	21	30	179	26	257
	計	2	23	53	300	63	441
14 期	男	1	2	44	99	52	198
	女	0	9	17	117	39	182
	計	1	11	61	216	91	380
15 期	男	2	1	29	66	33	131
	女	0	9	9	83	36	137
	計	2	10	38	149	69	268
16 期	男	1	3	34	95	36	169
	女	0	12	9	85	12	118
	計	1	15	43	180	48	287
17 期	男	8	2	38	77	34	159
	女	0	11	16	64	16	105
	計	8	13	54	141	50	264

主な大学・短期大学進学先(現役のみ)

京都工芸繊維大	京都学園大	大阪薫英女子短	樟蔭東女子短
中央大	京都橘女子大	大阪工業大短	相愛女子短
近畿大	光華女子大	大阪産業大短	常磐会短
大阪産業大	園田学園女子大	大阪城南女子短	浪速短
大阪工業大	奈良大	大阪女子学園短	梅花短
大阪商業大	奈良産業大	大阪千代田短	羽衣学園短
大阪芸術大	高野山大	大阪電気通信大短	東大阪短
大阪経済法科大	道都大	大阪明浄女子短	樟蔭女子短
阪南大	徳島文理大	近畿大短	奈良芸術短
桃山学院大	第一工業大	金蘭短	奈良佐保女学院短
大手前女子大	八代学院大	I B U 大短	奈良文化女子短

主な就職先(学校幹旋による)

きん で ん	ホー ラ イ	阪 急 百 貨 店
八千代電設工業	アイテック・ツリタニ	ダ イ エー
いかるが乳業	因幡電機製作所	ニ チ イ
コロンバン	ホシデン	ライフコーポレーション
タケダハム	ホシデン精工	イーストポイント
鶴屋八幡	葵機械工業	阪 神 商 事
クラウン	住金関西工業	ファイブ・フォックス
山崎製パン	トヨタ自動車	ルイマルトミ
バリゼンヌ	関西電力	トミヤマ
トミヤアパレル	近畿日本鉄道	トヨタオート南海
昭和プロダクツ	西日本旅客鉄道	トヨタカローラ南海
ハート封筒	奈良交通	上新電機
上六印刷	新日本海フェリー	愛 眼
三和実業	コクヨ物流関西	シーモス
新大印刷協業組合	アイリス	資生堂大阪販売
東洋電子製版	新栄産業	グルメ杵屋
昭和パックス	プ リ モ	近 鉄 観 光
広栄化学工業	丸 大	信用組合大阪商銀
日本マルコー	萬 栄	信用組合関西興銀
紀伊産業	小川電機	相互信用金庫
第一樹脂工業	パ ロ マ	福 徳 銀 行
大可工業	マツモト産業	八尾市農業共同組合
筒中プラスチック	幸 田	太陽生命保険
明和グラビヤ	森内商行	近畿ニッポンレンタカー
ヤマトエスロン	竹 尾	前 川
サムテック	池崎大創	富士屋ホテル
富士電線工業	シンコールコーポレーション	コ ミー
日中製作所	ザナックス	総合警備保障
柏原機械製作所	コロンプス	河内総合病院
光洋精工	近鉄百貨店	島田病院

## 保健部

「保健室も20才」

◇お元気ですか？

柏東を巣立っていかれた皆様お元気ですか？

私は2代目の養護教諭ですが、もう12年間地獄坂といわれる東門の坂を、自転車で生徒たちと登っています。保健室の初代は園重貞子先生で、本校8年間勤務のあと、布施高校定時制を先年定年退職されましたが、お元気になっておられます。

生徒たちからは、「おばさんはいらん。そろそろ若い先生がいい」などと、囁かれていますのですが……。聞き流しつつも、月日の流れの速さに驚いています。

保健室には行ったこともないという方も、約半数はおられるでしょうが、保健室のシンボル、あの黒いソファベットのこよなく愛し、保健室に足繁く通ったA君、B君お元気ですか。その後ついに、皆さんの重量に耐えかねて傾いてしまい、2代目に買い替えました。

サンルームのような南向きの部屋からは、相変わらず葛城山に連なる大和の山々が望め、三方山という光景は変わりありません。

地獄坂で自転車の2人乗りをし、ブレーキが切れ、大和川に落ちたり、車とぶつかったり、フェンスに激突したり、すんでのところ命には別状なくすみましたが、肝を冷やした事故も何件かおきました。いろんなことのあった20年でしたが、後輩たちが、長い道のりを汗を拭き拭き登校している柏原東高校は、今日も健在です。

◇この20年・保健室あれこれ

20年といえば、赤ちゃんが成人になるまでの意味のある年月ですね。1期生は30才代半ば。これからは、生徒の保護者として母校を訪れる方も増えてくることでしょう。

最近の様子も含め、これまでの保健室のよもやま話を少し……。保健室の様子は、生徒の身体や心の状態を写す、鏡のような場所だとよくいわれます。社会の影響は、まず敏感なこどもに表れます。高校生をこどもといたら失礼ですが、大人社会に近づいた高校生は、小中学生とはまた違った形で影響を受けやすいものです。

いつの時代も社会は変わっていますが、この20年には、こんな変化があり、こどもたちの生活にもいろんな影響を与えました。

1970年代（高度成長のひずみ、公害問題、オイルショックが起こる。子供の遊び場も減少。漫画・

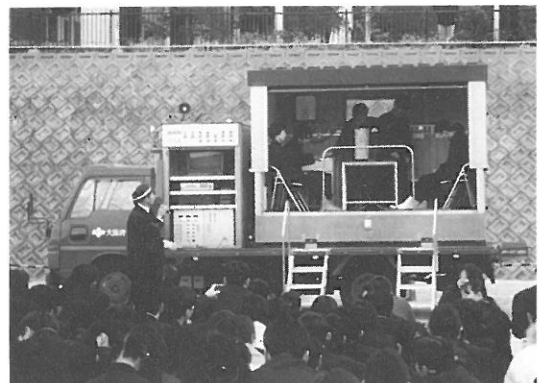
劇画がヒット。第3次インスタントラーメンブーム、カップラーメンの誕生。自動販売機の増加）1980年代～（半導体生産の急成長、こどもの世界にもゲーム機として登場。ドラクエ・ブーム。サラ金業界にかげり。性産業の多様化。増え続ける不登校。過労死。高齢化社会へ突入。コンビニエンスストアの増加。機能性本位の食品急成長。食生活の変化。エイズ問題。学習指導要領改定。いじめ問題深刻化。食中毒激増。）等々、ざっとあげてもきりがいい位ですが、これらのいろんな影響が、さまざまな形で、学校全体でもそうですが、保健室でもみてとれてきたと思います。

特に、1987年は第2次ベビーブームの子供たちが高校入試受験者数の頂点に達した年でした。学校は生徒であふれ、本校も1650名の生徒数が在籍しました。現在は約半数の800名弱です。

【5114人】これは1986年「しんどい・だるい」

「けがをした」等々の訴えで、保健室を訪れた生徒の年間総数です。すごい数でした。一番多い日は、80名近い生徒が来室しました。いろいろ聞いている間に、授業終わりのチャイムがなり、新たな生徒が押しかけるという毎日でした。このころは、遅刻の数も数万を数えていた頃です。去年は

【1389人】ですから、どれくらい多かったかわかりでしょう。私も忙しさに追われ、随分怒鳴っていた記憶があります。恨んで、部屋を後にした方もおられたでしょう。あの頃の光景が、懐かしい顔と共に思い浮かびます。「忙」という字は「心を亡くす」と書きますが、苦い思いも残り、心にゆとりがもてなかった頃でした。しかし、皆さん逞しく巣立っていかれ、頼もしい限りです。



起震車による体験



## ◇気になる生徒たちの様子

保健室では、生徒たちが、今もそして将来に向かって、健康に生きていく力を育(はぐく)むことを願っています。そのためには、自分の健康状態を知り、知識も身につけて欲しいと思っています。

ところが、気になることがいくつかあります。その一つに、人生で一番元気にあふれているはずの時期に、朝から疲れている高校生の多いこと。加えて、どうも自分の身体なのに、なぜか人まかせの態度が目立ちます。もちろん、そうでない生徒もたくさんいるのですが、なぜか増えているように思えて心配です。

「御飯食べるのめんどくさい」「寝る時間はばらばら」「もうどうでもいい。帰って寝たい」「とにかくしんどい。なんとかして」。夜でも動く24時間社会の影響をもの受け、中には長時間労働(アルバイト)と睡眠不足で過労死寸前ではないかと思われる生徒もいました。食事も食べず、睡眠もとらずでは、元気がでるわけがありませんが「それでは食べよう。寝よう」とはつながらず、また繰り返される。生徒に、「人間も生き物で、食べて寝なければ生きていけない。身体が、赤ちゃんと比べて今のように成長した原料は何?」と聞くこともしばしばです。どうも、便利になった世の中は、何でも何とかかなりそうに思えて、そういうあたりまえなことや、生きていく知恵等も忘れさせる時代のように思えます。あたり前のことは変わらないと、思い起こして欲しいものです。

## ◇こぼれ話

話題を変えますが、いつの頃からか、保健室が放課後クラブの部室になっていたのをご存じですか。実は、今のようにボランティアブームになる以前、「ボランティア活動したいからクラブを作りたい」という生徒の要望があり、10年位前から細々とですが今も続いています。

手話や点字などのボランティアに必要な技術を身につけ、今持っている力でできる活動することを目的にして、さまざまな活動を生徒が続けています。顧問の一人として私も係わってきましたが、特記すべき事は、他校の生徒との交流です。

他校の生徒や先生たちと活動を共にする機会もあり、柏原東の生徒たちは、思いつかなかった自分と出会う経験をしました。それは、自分を再発見することだったと思います。「あなたの学校で、優しい子が多いんやね。うらやましいわ」「うちの学校もそんなことは同じやでー」「でもここんところはあかんと思うわー。こうしてみたらー」等と言い合いながら、「一緒に頑張ろなー」とやっているうちに、自分の力を発見し伸ばしていった生徒の様子を見て、うれしい思いをしたのは顧問をしていた収穫でした。いろんなところで、自分の世界を限定せず、少しの勇気を出して行って欲しいものです。

## ◇未来にむかって

20才といえれば成人。自分で考え行動しなければいけない自立の年。これが一番難しい。情報化社会で、何が正しいのかを選ぶのも難しい時代ですが、また飛躍の年でもあります。柏原東高校も20才、これからが成熟期。新たなステップにふみこみます。

多くの、巣立っていかれた同窓生が、小中学生の保護者や、地域で支えてくれる成人になられています。これからは、共に考えて協力しあう時代にもなったのですね。

保健室も今後ともどうぞ宜しくお願いします。

皆様のご健康とご活躍をお祈りします。

(養護教諭 梅崎貴美子)



文化祭展示



## 生徒会

今、燃える生徒会活動

柏原東の生徒会行事は今大きく変わろうとしています。かつて『リーダー合宿』の名で呼ばれていた新入生歓迎会の宿泊研修は、昨年から『新歓スプリングキャンプ』という名に変わって5月に行われました。今年はなんとゴールデンウィークの5月3日～4日という日程で行われました。昨年は1年生54名と上級生43名、合わせて97名という画期的な規模でしたが、今年も1年生51名と実行委員25名、合わせて76名というキャンプになりました。今は1学年280名の定員であることを思えば、自由参加でこの人数が集まること自体が驚異的なことです。実行委員の面々は、新学期早々か

ら企画を練り、討議やレクレーション、料理コンテストやキャンプファイヤー等の準備に、連日遅くまで残って熱っぽく活動を繰り広げていました。新入生にとっては高校生活のスタートを切るための仲間作りの機会であり、上級生にとってはリーダー研修の場として、リーダー合宿はしっかりと柏原東に根を下ろしています。この行事の経験が、学年サマーキャンプや修学旅行へと広がっていき、それらの活動の輪の中から、また新たにリーダーが育ち、体育祭や文化祭等の生徒会行事を支える力ともなっています。



ゲーム講習



料理コンテスト



キャンプファイヤー

